

研究発表一覧／著書

分析値の提示と分析値の意味

上本道久（都産技研），
現場で役立つ化学分析の基礎、平井昭司監修、日本分析
化学会編、オーム社(2006)
化学分析の現場で求められている技術者の分析技術の取
得と向上に向けて、ピペットや電子天秤の使い方、標準
液の使用とトレーサビリティ、分析環境の選択、試薬の
使い方、試料の前処理、分析の信頼値の確保等、基本事
項を中心に解説した(ISBN4-274-20203-8)。

鑄造欠陥とその対策

佐藤健二（都産技研）他 13 名，共著
（社）日本鑄造工学会編
（社）日本鑄造工学会発刊（2007）
鉄系及び非鉄系合金鑄物，非鉄合金ダイカストの欠陥
を外観不良，内部欠陥，特性不良に分類し，その欠陥事
例とその対策について記載した図集。欠陥ごとの製造法，
材質，欠陥の状態，発生箇所，原因，対策について解説。
マグネシウム合金鑄物とダイカストの分野を執筆担当し
た。(ISBN4 -9902781 -6 -X -C3057)，A 4 版，259
頁

制振工学ハンドブック

高田省一（都産技研），
制振工学ハンドブック、制振工学ハンドブック編集委員
会編、コロナ社(2008)
制振関連分野を集大成した全 6 編からなるハンドブック
の第 6 編基礎資料のうち、第 2 章 研究の動き 2.3 文献
調査資料、第 3 章 基準、規格 3.1 用語、単位 3.2 材
料関係規格において、研究開発に有用な情報提供を目的
として、解説した(ISBN 978-4-339-04585-7)。